「障がいを理由とした差別と思われる事例」応募用紙

記入例

※書ききれない場合は、用紙をコピーして、お書きください

1. 障がいを理由として、「差別を受けたと思った」「生活のなかでいやな思いをした」こと、「差別を受けている、いやな思いをしている場面を見た」ことなどをお書きください。あわせて、改善の方法や「こうしてほしかった」ことがあればお書きください。

事例の内容 （できる限り具体的に書いてください）	改善の方法 （できれば書いてください）
私は耳が聞こえません。私のサービス内容を決める大事な話をしているときの事例です。けれども、相談員さんは、同席してくれていた姉とばかり話をしていて、自分の話なのに、私には話しかけたり、確認をとったりはしてくれませんでした。サービスが一度決まってしまうと、後で、「こうしてほしかった」と言い出すのは非常に難しいことです。ヘルパーさんに訴えても、「そんなことは聞いていません」と言われたり、逆に怒られたりするかもしれません。姉は、私のことを大切にしてくれる大事な家族ですが、自分のことは自分で決めたいというのが私の強い思いです。	相談員さんが、サービスを受ける障がい者本人の気持ちをしっかりと確認してくれること。障がい者に対する理解をしっかりと持って、耳の聞こえない私とコミュニケーションできるように、手話ができること。

2. 「1」について、どうしたか、お書きください。

1　誰かに相談しましたか。アからキで選んでください。（複数回答可）

㋐　市町村や行政の窓口に相談した	イ　家族、友人、知人に相談した
ウ　障がい者団体や人権団体に相談した	エ　誰にも相談していない
オ　相談支援事業所	カ　ホームヘルパー等支援者
キ　その他（　　）	

2　相談の対応はどうでしたか。

市の人が、事業所に直接話をしてくれました。次のサービスを決めるときには、相談員さんは手話はできませんでしたが、姉だけでなく、筆談を使って、私の話をしっかりと聞いてくれました。

※ 差支えなければ、以下についても、お書きください。空欄でも構いません。

差別を受けた人	年齢　４０	性別　ア　男　イ　㋛
	ア　視覚障がい　㋑　聴覚・平衡機能障がい　ウ　肢体不自由 エ　音声・言語・そしゃく機能障がい　オ　内部機能障がい カ　知的障がい　キ　精神障がい　ク　発達障がい　ケ　難病 コ　高次脳機能障がい　サ　盲ろう者　シ　その他	
応募用紙の記入者	①．本人　２．家族　３．ホームヘルパー等支援者 ４．その他（　　）	

～ご協力ありがとうございました～